２０２１年４月２３日作成

一般財団法人三重ＹＭＣＡ
２０２０年度事業報告書

【計画期間：２０１９年度～２０２１年度】

§１　意　義

一般財団法人三重ＹＭＣＡは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長すること願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

【年間聖句】

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」
（ルカによる福音書１３章２９節）

§２　経営理念（ミッション・ステートメント）

三重ＹＭＣＡは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

1　すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
2　お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
3　歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
4　常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

§３　事業活動の現況に関する事項

●　事業の全般的状況

1　２０２０年度は、３ヶ年計画の第２年度であるが、新型コロナウィルス感染拡大に伴い、様々な制約を受けた１年であった。その中で、昨年度並みの売上高となったことは、幼児園リーダー始めスタッフの結果である。感謝したい。

さいわい YMCA 幼児園の園児と家庭、各教室の受講者、スタッフに感染者が発生しなかったことは喜ばしい。今後も注意して取り組みたい。

事業内容は、昨年度の形態を引き継いで行った。概ね達成できた。

・重点経営課題：「現有資産（人・物）を活用し収益を拡大する」
・数値目標と２０２０年度末結果

区　分	3 年後(2021 年度末)目標	2020 年度末実績	達成率	2019 年度末実績
売上高	40,000 千円	34,011 千円	85.0%	34,019 千円
経常利益	5,000 千円	2,084 千円	41.7%	1,219 千円

2　新型コロナウィルス感染拡大防止に行った内容をまとめておきたい。
（1）　4月に発出された「三重県感染緊急事態措置」に伴い、YMCA 幼児園の登園自粛、各教室を休校（幼児・小学生・成人英語、体操、ピアノ・クラフト）
　　期間：4月１７日（金）～5月8日（金）
（2）感染拡大予防のための衛生用品、２人用机等を購入
（3）手洗いの励行、体温測定（登園前に自宅で測定)、三密の回避、マスク着用を実施
（4）運動会は、クラスごとに園庭で実施（これまでは四日市市緑地体育館を利用）
（5）入園式、卒園式、クリスマス祝会は、参加人数を制限し実施
（6）手指消毒液、空気清浄機、アルコール、二人用机等の購入を実施
（7）これらに関連した補助金、持続化給付金、家賃支援給付金を受領

教室休業補償（三重県）	500,000 円
持続化給付金（中小企業庁）	2,000,000 円
家賃支援金（中小企業庁）	1,090,000 円
テナント家賃支援金（四日市商工会議所）	409,000 円
消毒液購入補助金（三重県）	15,000 円
空気清浄機等購入補助金（三重県）	159,000 円
２人用机等購入補助金（三重県）	433,000 円
合計	4,606,000 円

3　YMCA 幼児園の卒園生は、４１０名となった。
4　成人英会話教室は、外国人講師の退職を機に閉校した。企業クラスの減少、教室受講生の減少が要因であるが、コーディネーター不在、カリキュラム構築等、三重 YMCA の語学体系を確立できなかったことが根本の要因である。
　なお、国際交流事業は、任意団体三重 YMCA の国際交流委員会が中心となって取り組んでいる。
5　２０２１年度は、企業型保育施設の取り組み、これからの事業内容を見直す年としたい。
　　「行って楽しい、やって楽しい三重ＹＭＣＡ」となるように。

● **各事業の売上高**　（単位：千円、％）

事業名	今期売上金額	構成比	前期売上金額	構成比
ＹＭＣＡ幼児園事業	26,761	78.7	25,998	76.4
青少年育成事業	2,481	7.3	2,622	7.7
語学事業	1,418	4.1	2,006	5.9
その他事業	3,351	9.9	3,393	10.0
合計	34,011	－	34,019	－

※その他事業：音楽・クラフト教室、ＴＯＥＩＣ試験会場運営受託

§4　資金の借入れその他資金調達の状況
２０２０年度は、資金不足が生じた月があったため、役員等からの寄付によって対応した。

§5　設備投資の状況
当期中に完成した主要設備、継続中の主要設備の新設または拡充はなかった。

§6　対処すべき課題
1　理事後継者を早急に獲得すること
2　ＹＭＣＡ幼児園の土地は、借地である（定期借地契約、平成３５年１２月契約満了)。早急に対応策をたてること。

3　個人会員、日本ＹＭＣＡ同盟からの借入れが大きく、返済の責務を負っているとともに、債務超過の原因であり、毎月の資金繰り圧迫の要因となっていること（§８参照）

§７　設置施設の状況

名　称	所在地	備考
本社、ＹＭＣＡ幼児園	三重県四日市市阿倉川町３－１７	土地は、借地
体育ホール	三重県四日市市阿倉川町６－１１	建物は、借家

§８　主要借入先

借入先	金額
個人会員	61,378 千円
公益財団法人日本ＹＭＣＡ同盟	7,702 千円
合計	69,080 千円

§９　組合の運営組織の状況に関する重要な事項

当法人には、組合組織はなく、従業員代表を選んでいる。

§１０　職員の状況

区分	人数	平均年齢	平均勤続年数	備考
総主事	０名	－	－	不在
役職員数	１名	－	１３年	ＹＭＣＡ幼児園園長
職員数	１８名	４７.７歳	１２年	
ＴＯＥＩＣ試験官数	２０名	－	－	５回、延べ９９名
合計	３９名	－	－	－

§１１　役員に関する事項

役職	氏名
代表理事	塚本浩巳
理事	栗原正明
理事	薦田正男
監事	千賀直道
監事	後藤友則

§１２　その他法人の状況に関する重要な事項

１　　当法人は、１９７４(昭和４９)年３月三重県四日市市に誕生、１９８３(昭和５８)年４月財団法人三重キリスト教青年会として財団法人格を取得、２０１４(平成２６)年４月一般財団法人三重ＹＭＣＡに移行した。

２　２０１８年１０月２５日付けにて「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」(三重県知事　鈴木英敬)を受けた。これにより「認可外保育施設」として認定された。

「子福第０４-２４０号　平成３０年１０月２５日」

三重県こども・福祉部　少子化対策課保育サービス・幼保連携班

以　上

【数値指標】

§１　各事業別クラス、参加者数等一覧　　（２０２１年3月３１日現在）

クラス名	対象	回数	人数	備考
【YMCA幼児園事業】				
マミー	１歳児の親子	月2回	１０組	英語、体育、音楽
つくし	２歳児の親子	毎週水曜日	８組	英語、体育、音楽
めばえ	満3歳児	毎週木曜日	４名	
のぞみ（年少）	３歳児	週4日	１７名	
みのり（年中）	４歳児	週5日	１６名	
ひかり（年長）	５歳児	週5日	１５名	
アドバンスアウル他	年少～年長	週１回	２２名	幼児英語クラス
アドバンスグラッズ	小学1・3年生	週１回	１５名	小学生英語クラス
アウルエレメンタリー	小学１～６年生	週１回	２２名	小学生英語クラス
算数・英語	中学１年生	週１回	０名	
中学生準備	小学６年生	週１回	２名	
中学生（英検対策）	中学１～３年生	週１回	４名	
ピアノ	年少～小学生	週１回	８名	
クラフト	年少～小学生	月2回	１２名	絵画、クラフト製作
Let's English Cookin	年少～小学生	0回	延べ0名	新型コロナで中止
英語で遊ぼう	年少～年長	3回	延べ37名	夏・冬・春休み
クラフト	年少～小学生	4回	延べ75名	夏・冬・春休み
【青少年育成事業】				
幼児体操教室	年少～年長	週１回	２５名	年40回
マスター	小学１～４年生	週１回	６名	年40回
短期集中体操	年少～小学生	４、５日間	延べ102名	８回開催、1回は新型コロナで中止
アルカディア	青年	月１回	７名	障がいを持つ青年の活動
【語学事業】				
英会話上級	成人	週１回	４名	
フォレスト	成人	週１回	４名	初級2名、上級2名
企業英語クラス		週１回	１企業	